

自立活動だより

第24回バリアフリー展 2018

大阪府立東大阪
支援学校
自立活動部
2018.7. 20 発行

高等部 普通課程 野村先生報告

今年は4月19日～21日にインテックス大阪で開催されました。今年のバリアフリー展では、展示品の見学に加え、ワークショップ(出展者からその分野の専門的な話を伺う場)でいろいろな話を伺ってきました。

※資料は学校の自立活動室2の部屋にあります。保護者の方で見られたい方は担任までご相談ください。

展示



カラオケで体操

介護現場でカラオケ装置の前で健康体操(リズム体操)



視線で入力できる
パソコン
(※資料あります)



ICT広場



ジョイスティックタイプのマウス顎や、指一つでマウス操作ができます。

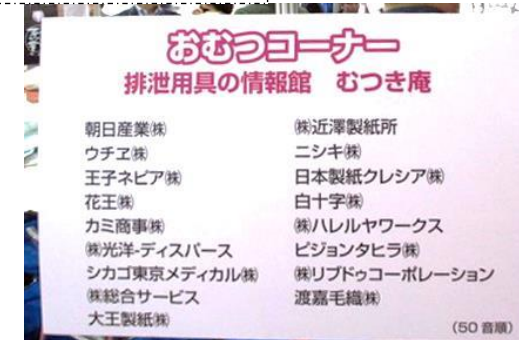


身近にある物でスタンプ

ペットボトルのキャップでトマトを表現したり三角にカットした段ボールを剥がし波の部分を使ってタケノコを表現することができます。



卵パックにはピンポン球がぴったり収まります。ワンバウンドさせへこみに入れるゲーム。ピンポン球がケースにすぽっと入って行く様子が面白かったです。色違いのピンポン球を使えば数を競ったり、ビンゴもできます。(介護雑誌のブース)



オムツフィッターの資格を有する方がオムツについての相談に応じてくれました。(むつき庵)



片手で薬の袋を開けたり、オブラートに粉薬を入れるためのホルダー、ゴルフの練習球を使った鉛筆の握りを太くする工夫など自作の自助具が展示されてました。(自助具の部屋)



ピンセットのようになっている箸

[ワークショップ]

1. (一社) 日本支援技術協会

日本マイクロソフト(株) 技術統括室 大島 友子氏

「障害のある人のテクノロジー活用」

テクノツール株式会社 田代 洋章

株式会社ユープラス 小野 雄次郎

ウィンドウズ10に標準で備わっている機能

【ナレーター機能】 表示したテキストを読み上げる機能 Edge(インターネットを見るためのブラウザ)にも同様の機能が備わっています。

【拡大鏡機能】 ポインターをもっていくとその部分の文字などを大きく表示させる機能

【ハイコントラスト】(色覚に特性のある方むけ)

【スクリーンキーボード】画面上にキーボードを表示します。

【視線入力機能】別売りのカメラを使えば視線で操作できます。

【マイクロソフトトランスレーター(翻訳ソフト)】

※WindowsのOSがメジャーアップデートされるときに機能が追加されてきています。

【office Lens】(iアプリ)カメラで撮影した文書をOCR機能でデジタルデータ化できます。Wordで作った文書のように編集ができたり、読み上げ機能を使って読み上げたりすることができます。

その他 マイクロソフトでは、就労に関する取り組みとして、テレワークの取り組みをすすめています。詳しくはFace Bookで見ることができます。

(※資料あります)

2. 大阪市援助技術研究室

「難病の人への福祉用具支援サービス～利用者ニーズに応じた適合支援～」

主任研究員 米崎 二郎氏

研究員 池田 真紀氏

国立病院機構八雲病院 田中 栄一氏

障がい者の支援に従事する人の世代交代、力量の差をうめる取り組みの一つとしてノウハウの蓄積(データベース化)を進めています。

3. (一社) こうしゆくゼロ推進協議会

「緊張を与えるケアは、拘縮の原因です！」

スーパーアドバイザー

松尾 清美氏、大淵 哲也氏、山形 茂生氏、白石 源成氏

ポジショニングや介護の方法で拘縮の状態は改善します。さらに、介護に従事する方々の負担の軽減にもつながります。

【キーワード】

2013年厚生労働省が「腰痛予防対策指針」を出す。原則として一人手による抱え上げはしてはいけない。

ナチュラルハートフルケアネットワーク

日本ノーリフト協会

ノーリフティングケア

スライディングボード

※上記のキーワードで検索すると、これに関する情報が得られます。

4. (公社) 大阪府理学療法士会

「目からウロコの介護技術～安全・安楽な移動・移乗の介護方法～」

特定医療法人清翠会 牧病院デイケアセンター責任者 土井 浩史氏

【キーワード】

移乗動作においては動線の確保

姿勢を保持しているときの支持面と重心の関係

介助者は柔軟性を

福祉用具の導入

(※資料あります)

5. (一社) 大阪府言語聴覚士会

「発音と食事のリハビリテーション」

(株) コンパス 代表取締役 永末 努氏

【キーワード】

食べる機能と話す機能

食事と摂食・咀嚼・嚥下・嚥下反射

嚥下障害と呼吸

誤嚥→肺炎

誤嚥の程度 喉頭侵入・誤嚥(aspiration)・むせのない誤嚥(silent aspiration)

改善に向けて 姿勢づくり、大きな声での発声、息とめ、口を動かす、呼吸状態を整える、上肢を

使う運動 歯、舌の状態 ケア

食物の形態 見た目も大切に

支援者のモチベーション 言葉かけで食事に必要なテンションを維持する。